

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

家畜の中毒について

家畜が摂取し中毒を起こすものとして、有害植物・飼料中のカビが産生したカビ毒・殺虫剤等の薬物・金属等があり、消化器障害や神経障害の発症、場合によっては家畜が死亡することもあります。今回は、国内で発生報告があったものを中心に、有害植物・カビ毒等による中毒の一部について紹介します。

● 植物中毒

有害植物	有毒物質	中毒症状
ワラビ	フラボノール類	白血球減少、出血病変（牛、めん羊、山羊）、運動失調、痙攣（馬）
キョウチクトウ モロヘイヤ種子	強心配糖体	痙攣、下痢、食欲不振、頻脈、心臓麻痺
シキミ	アニサチン	嘔吐、下痢、呼吸困難、痙攣
オナモミ	カルボキシアトラクティ ロシド	沈鬱、筋収縮、痙攣、心拍数増加
センダン	メリアトキシン	食欲不振、嘔吐、下痢、興奮、痙攣
ドクゼリ	シクトチキシン	嘔吐、痙攣、呼吸麻痺
スイートクローバー	ジクマロール	血液凝固障害、全身出血病変
障害サツマイモ	ファイトアレキシン	呼吸困難、頻呼吸

● カビ毒（マイコトキシン）による中毒

カビ毒	汚染の可能性のある飼料	中毒症状
トリコテセン系	麦、トウモロコシ	下痢、嘔吐、免疫機能障害
フモニシン	トウモロコシ	白質脳軟化（馬）、肺水腫（豚）、肝障害
ゼアレノン	トウモロコシ	外陰部腫大（豚）、繁殖障害（牛）
オクラトキシンA	麦、トウモロコシ	腎障害、肝障害
パツリン	リンゴジュース粕	浮腫、痙攣
エンドファイト毒素	輸入ストロー	痙攣、歩行困難

- その他、クマリン、サルファ剤、有機リン系殺虫剤等の薬物や、鉛、銅による金属の中毒発生事例があります。

※動物種により症状の違い、中毒を起こさないものもあります。

中毒を防ぐため、適正な飼養管理を心がけましょう

- 家畜が有毒植物を摂取しないよう畜舎周辺の自生植物に気を付けてください。また、人が食べているからと安易に家畜に与えないようにしましょう。
- 飼料中にカビ毒が発生しないよう、飼料の適正な管理を心掛けましょう。
- 畜舎の工事や塗装などで有害物質の持ち込みがないか注意してください。

気になる点や不明な点がありましたら所轄の家畜保健衛生所にご相談ください。